



ニュースレター

第53号

NPO法人 日本リハビリテーション看護学会

事務局案内

住 所 〒162-0825
東京都新宿区神楽坂4-1-1オザワビル2F
株式会社ワールドプランニング内
NPO法人 日本リハビリテーション看護学会
事務センター
電話番号 03(5206)7431 FAX 03(5206)7757
E-mail jrna@worldpl.jp



理事長挨拶

理事長 栗生田 友子 (埼玉医科大学 保健医療学部 看護学科)

2021年の春—— 会員の皆様は、どのような年明けを迎えられたことでしょうか。

昨年は、新型コロナウイルスに臨床も教育現場も、あわただしく対応に追われたことと思います。本学会も、残念ながら、様々な活動縮小を余儀なくされました。学術大会では、基調講演・教育講演・シンポジウム等を中止し、演題発表も視聴者との双方向のやりとりがない web方式での開催となりました。また、すべての会員向け研修会も中止し、感染拡大情報を追いながら、再開の機会を見守りました。何よりも、学会全体の活動推進にあたる企画会議ができない状況も抱えました。本学会を支える理事のほとんどは、臨床での看護部トップあるいは教育担当師長です。現場でのコロナ対応がまず優先されなければならぬということは、必然でした。

振り返ると、これらの経験を経て、学会としての適応能力を培う必要があると気づかされます。そして、会員間の交流機会によって、私たちの研鑽の機会も拡大し、看護としての能力を高めあっていたということにも気づかされます。双方向のやり取りを通して、それぞれの人材は熟していくものなのだと思いついた時、学会としてやるべきことが見えてくる——そう思えてきます。

さて、本年度は仕切り直しとなりますが、学会では改めて「将来構想プロジェクト」を立ち上げ、どのような学会にしていくかについて、会員の意見を吸い上げ、学会の再構築を図ります。これから先の

リハビリテーション看護という分野の専門性、臨床での看護の実践、リハビリテーション看護分野の臨床が抱える課題、実践を担う看護師の育成等、できるだけ広く取り上げます。現場で必要な研修計画があるだろうか、若手の会員・ベテランの会員双方に役立つ意見交流の場があるだろうか、介護の専門職に向けた学びの機会は十分にあるだろうか、というような身近な希望をぜひ生かしていきたいと思えます。

いくつか今年度の企画を紹介いたします。学会誌編集委員会では、学会誌の発行を「投稿しやすい」ことを念頭に、論種の見直しが図られました。実践での活動をより投稿しやすくすることも念頭に置いています。研修委員会では、webでの研修も取り入れ、コロナの感染状況を見ながら、対面での研修企画も図っていきます。会員拡大・広報委員会では、ホームページを用いた社会への情報提供や、会員の皆様のニーズを明確にして企画を進めます。調査委員会は、今年度の課題を明確に絞って学会としてのデータ収集にあたります。

これから先のリハビリテーション看護を見据えて、学会は新たに構想を立てていかなければならない時期にあると思えます。現場での感染対応を万全にしつつ、少しでも前に進めるよう会員の皆様とともに「1歩前へ」と進めていけることを願っています。

毎日の感染者数と、ワクチン接種の状況が気になる毎日です。まずは、皆様の健康を祈りながら——。



第32回学術大会報告

大会長 板倉喜子 (白山リハビリテーション病院 看護部長)



テーマを「その人らしい“生き方”をリハビリテーションする～愛を花のように育てよう～」とし、2020年11月21日(土)、22日(日)に愛知県産業労働センター(ウインクあいち)で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大につき現地開催を中止とし、一般演題発表のみ誌上開催(抄録のみ電子配信;本学会ホームページ)とさせていただきます。

コロナ禍にあり不安定な日常のなか、開催方法の変更にも関わらず、45演題の抄録と4社からの企業広告の協賛をいただき開催することができたことに、心より感謝申し上げます。

今回は抄録による誌上発表であったため、文字数制限がありながらもより良い発表の機会となるよう、本学会役員のご協力により、査読による演者への細やかな助言や支援もいただきました。リハビリテーション看護の実践は病院から在宅まで幅広く、貴重な取り組みが、研究活動により意義のあるものとして明らかにされることは大変価値の高いことと改めて感じました。抄録集にまとめられた演題は興味深い内容ばかりで、実践知の集まりです。ぜひ研究で得られた成果を実践に生かし、さらなる検証や課題から、あらたな取り組みにつなげられることを期待しています。

また電子配信により、多くの方に抄録集をご覧いただくことができますので、皆さまのリハビリテーション看護にご活用いただければ幸いです。

なお第33回学術大会は2021年11月、愛仁会リハビリテーション病院(大阪府高槻市)の森田真由美看護部長を大会長として開催されます。ぜひ多くの皆さまにご参加いただけますよう、お願いいたします。

2020年度 NPO法人日本リハビリテーション看護学会 役員一覧

	氏名	所 属
理 事 長	粟生田友子	埼玉医科大学
副 理 事 長	石川ふみよ	上智大学
	板倉喜子	白山会白山リハビリテーション病院
会 計	荒木暁子	日本看護協会
	熊谷恒子	東北公済病院
理 事	佐藤泰彦	脳神経疾患研究所附属総合南東北病院
	松浦真喜子	みちのく愛隣協会東八幡平病院
	森河琴美	溪仁会札幌溪仁会リハビリテーション病院
	岩川彰子	鶴巻温泉病院
	高木 緑	真正会霞ヶ関南病院
	中西まゆみ	東京湾岸リハビリテーション病院
	原 三紀子	東邦大学
	市川 真	NTT 東日本伊豆病院
	浦野妃路美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
	後迫 瑞穂	愛仁会千船病院
	柏木 史江	兵庫県立リハビリテーション中央病院
	川端 直子	広島市立リハビリテーション病院
	大塚 恵	尚温会伊予病院
	佐藤 史	JCHO 湯布院病院
	山本 恵子	九州看護福祉大学
監 事	佐藤 啓子	埼玉県総合リハビリテーションセンター
	田村 玉美	太成学院大学



2020年度 通常総会

2020年度通常総会を令和2年11月20日(金)に開催した。今回は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を考慮し、書面による議決権を行使する方法で開催した。

- 1) 第1号議案：2019年度事業報告及び収支決算
- 2) 第2号議案：2020年度事業計画及び収支予算
- 3) 第3号議案：年会費の改訂
- 4) 第4号議案：役員を選任

第1～4号議案は、定款第27条第2項に定める出席した正会員の3分の1以上の賛同の要件を満たしたことから、可決した。

書式第13号(法第28条関係)

2019年度 活動計算書

2019年10月1日～2020年9月30日まで

特定非営利活動法人 日本リハビリテーション看護学会

(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
[A] 経常収益		
1 受取会費		9,146,000
受取入会費	326,000	
正会員受取会費	8,820,000	
2 事業収益	6,838,383	7,323,383
調査・研究・学術大会の開催事業収益	6,838,383	
研究会・講演会の開催事業収益	485,000	
3 その他収益		74,149
受取利息	58	
学会誌売上	14,103	
雑収入	59,988	
経常収益計		16,543,532
[B] 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		0
(2) 調査・研究・学術大会の開催運営費		10,557,009
学術大会運営費	7,762,859	
学会誌編集・発行費	1,706,659	
ニュースレター発行費	311,850	
研修会費	491,224	
教育・調査研修費	165,851	
委員会活動費		
・学会誌編集委員会	70,110	
・研修委員会	18,206	
表彰費	30,250	
事業費計		10,557,009
2 管理費		
(1) 人件費		0
(2) その他事務局管理費		8,351,333
会計費	98,530	
旅費交通費	806,733	
印刷・通信費	906,975	
HP管理費	974,246	
業務委託費	5,538,500	
雑費	26,349	
管理費計		8,351,333
経常費用計		20,909,558
当期経常増減額 [A] - [B]・・・①		-2,364,810
[C] 経常外収益		
経常外収益計		0
[D] 経常外費用		
経常外費用計		0
当期経常外増減額 [C] - [D]・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		-2,364,810
法人税、住民税及び事業税・・・④		0
前期繰越正味財産額・・・⑤	6,324,080	
次期繰越正味財産額③-④+⑤		3,959,270

2020年度 活動予算書

2020年10月1日～2021年9月30日まで

特定非営利活動法人 日本リハビリテーション看護学会

(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
[A] 経常収益		
1 受取会費		10,900,000
受取入会費	500,000	
正会員受取会費	10,400,000	
2 事業収益	900,000	900,000
調査・研究・学術大会の開催事業収益	400,000	
研究会・講演会の開催事業収益	500,000	
3 その他収益		40,000
受取利息	10,000	
学会誌売上	30,000	
雑収入	0	
経常収益計		11,840,000
[B] 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		0
(2) 調査・研究・学術大会の開催運営費		4,700,000
学術大会運営費	900,000	
学会誌編集・発行費	1,700,000	
ニュースレター発行費	500,000	
研修会費	500,000	
教育・調査研修費	500,000	
委員会活動費		
1) 学会誌編集委員会	100,000	
2) 研修委員会	100,000	
3) 広報・会員拡大委員会	50,000	
4) 調査委員会	50,000	
5) 教育プロジェクト	50,000	
6) 将来構想検討プロジェクト	50,000	
表彰費	50,000	
選挙管理・運営費	100,000	
雑費	50,000	
事業費計		4,700,000
2 管理費		
(1) 人件費		0
(2) その他事務局管理費		7,750,000
会計費	100,000	
旅費交通費	800,000	
印刷・通信費	1,000,000	
HP管理費	400,000	
業務委託費	5,400,000	
租税公課	0	
雑費	50,000	
管理費計		7,750,000
経常費用計		12,450,000
当期経常増減額 [A] - [B]・・・①		-610,000
[C] 経常外収益		
経常外収益計		0
[D] 経常外費用		
経常外費用計		0
当期経常外増減額 [C] - [D]・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		-610,000
法人税、住民税及び事業税・・・④		0
前期繰越正味財産額・・・⑤	3,959,270	
次期繰越正味財産額③-④+⑤		3,349,270



施設紹介

医療法人社団朋和会

西広島リハビリテーション病院

看護介護部 部長 杉本 真理子



西広島リハビリテーション病院は、1986年11月に中国地方初めての都市型リハビリテーション病院として開設しました。今年で35周年を迎えます。35年前は「リハビリテーション」という言葉は一般的ではなくノウハウも何もありませんでした。いくつもの苦難の歴史がありましたが、利用された患者さん、そして地域の皆様に支えられながら歴代の職員が手探りで頑張り、現在までバトンを繋いできました。

初代理事長の掲げた「信じ合い 明日を拓(ひら)く」という理念は、「良いリハビリテーションを提供したい。そのために、患者さんを含めた全職員が確かな信頼関係のもと、心を一つにしてチーム医療に取り組むこと。そして、未来に向けてチャレンジし続けること。」を意味します。

2000年には広島県で初めての回復期リハビリテーション病棟を開始しました。2010年には広島県で初めての日本医療機能評価機構リハビリテーション付加機能認定を獲得しました。2013年には日本で初めて付加機能(リハビリ機能) Ver.3.0認定を獲得しました。前例のないものにチャレンジし続けています。

看護介護部も法人の理念を受け、患者さんの人間性を尊重し個々のニーズに応じた適切な看護を提供すること、看護の質を高めるため専門職業人としての自己啓発に努め人間性豊かな看護師を目指すこと、地域において保健・医療・福祉との連携を図り信頼される看護を目指すことを基本方針としています。リハビリ看護の専門性を高めるため、2015年電子カルテ導入を機会に国際生活機能分類(ICF)に沿った標準看護計画を採用しました。それまで課題であった、多職種での共通した患者全体像の把握や、活動レベルにとどまらない参加レベル(その人らしい暮らし)の目標の提言が可能となりました。また、実際の生活環境を知る機会である家屋調査にも積極的に参加し看護に反映できるように努力しています。

人間性豊かな看護師の育成にも力を入れており、常に免許証をもらった時の初心にかえり、己を戒め努力し看護の質を高めることの必要性を語り続けています。私たちが実践するケアは「相手に合わせてこちらが動くケア」です。相手に合わせてこちらが動くことはとても大変なことです。大変なことを丁寧に行う中で、本当のケアの質の向上や様々な工夫が生まれてきます。

これからも、健康の回復・保持増進により患者さんが自分らしく生活できるために、看護師として援助できることは何かを考え続けられる組織でありたいと思います。



編集後記

桜の便りもちらほら届く季節となりました。今年の富山県の冬は35年ぶりの大雪となり、どうしたものかと思っていましたが、ようやく活気づいてまいりました。

今年度の日本リハビリテーション看護学会は、理事が多く交代しました。新広報委員ですが、年2回の「ニュースレター」作成では、リハビリテーション看護の専門性が高まるような研修などの情報を掲載していきますので最後まで読んでいただけたら嬉しいです。

まだまだ、新型コロナウイルス感染が落ち着いた日々が続きますが、ワクチン接種も始まりもうひと踏ん張り、力を合わせてのりきっていきましょう。

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 浦野 妃路美